

Intel® Unite™ ソリューション

テレメトリー・ガイド用 Intel® Unite™ プラグイン



法務情報および免責事項、著作権

本資料に記載されたすべての情報は、予告なく変更されることがあります。インテル® 製品の最新の仕様およびロードマップをご希望の場合は、インテルの担当社員までご連絡ください。

インテル® テクノロジーの機能と利点はシステム構成によって異なり、対応するハードウェアやソフトウェア、またはサービスの有効化が必要となる場合があります。実際の性能はシステム構成によって異なります。絶対的なセキュリティを提供できるコンピューター・システムはありません。詳細については、各システムメーカーまたは販売店にお問い合わせいただくか、www.intel.co.jp を参照してください。

ここに記載されているインテル製品に関する侵害行為または法的分析に関連して、本書を使用または使用を促すことはできません。インテルに対し、ここで開示された内容を含む特許クレームについて非独占的かつロイヤルティー・フリーの実施権を許諾することに同意したものとみなされます。

本資料は、（明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず）いかなる知的財産権のライセンスを許諾するためのものではありません。

インテル® 製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があります。公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

インテルは、明示たると黙示たるとを問わず、商品性、特定の目的に対する適合性、法律違反のないこと、履行の過程、商取引上の取り扱いもしくは利用の慣例の黙示の保証を含むが、これらに限定しないすべての保証を否認します。

インテルは、本資料で参照している第三者のベンチマーク・データまたは Web サイトについて管理や監査を行っていません。本資料で参照している Web サイトを参照し、本資料で参照しているデータが正確かどうかを確認してください。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Unite は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

この文書はローカライズされることにより、一部の画像の表示が異なることがあります。

*その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です

© 2016 Intel Corporation.無断での引用、転載を禁じます。

目次

1.	はじめに	4
	1.1 対象	4
	1.2 概要	4
2.	プラグインのインストール.....	6
	2.1 プラグインのインストール.....	6
	2.2 証明書のハッシュ値を取得.....	6
	2.3 管理者 Web ポータルでプロファイルを作成する.....	8
3.	テレメトリー・プラグインの機能	10
	付録 A : トラブルシューティング	13



1. はじめに

このドキュメントでは、テレメトリー用 Intel® Unite™ プラグインのインストールおよび使用方法について説明します。

1.1 対象

このドキュメントは、Intel® Unite™ ソフトウェアのインストールやビジネス向けテレメトリーの有効化などアプリケーションへのオプション機能追加を担当する、企業環境内で作業を行う IT スタッフを対象としています。

1.2 概要

テレメトリー・プラグインを使用すると、IT 管理者は Intel® Unite™ アプリケーションと、各ハブに接続されているクライアント・デバイスに関する情報を収集できます。IT 管理者は、各会議室の接続数、日別接続数、接続ごとの平均使用時間などの情報を表示できます。



2. プラグインのインストール

テレメトリー・プラグインは、Intel® Unite™ ソリューション (エンタープライズ・バージョン) バージョン 3.0、エンタープライズ・サーバー・ビルド 3.0.38.44 以上のみで使用できます。

テレメトリー・プラグインをインストールするには、管理者権限が必要です。また、プラグインと Intel® Unite™ ソリューションのターゲット・バージョンとの互換性を確認する必要があります (バージョン 1.0 および 2.0 はこのプラグインに対応していません)。

2.1 プラグインのインストール

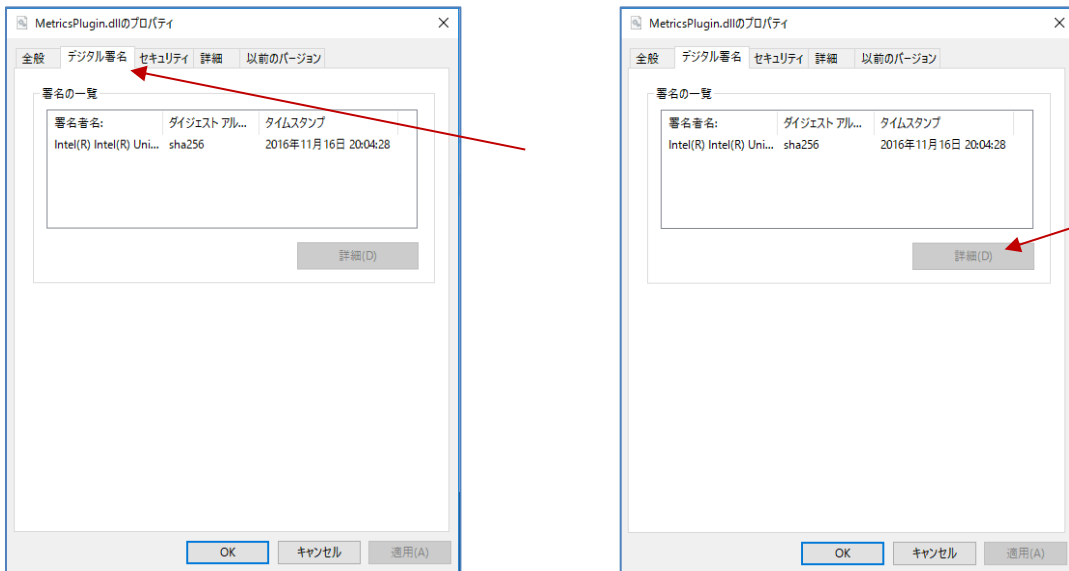
1. テレメトリーの機能を実装する各ハブで、プラグイン・インストーラー **Intel® Unite™ Plugin for Telemetry** を実行してエンドユーザー使用許諾契約に同意し、続行します。
2. C:\Program Files (x86)\Intel\Intel Unite\Hub\Plugins にあるプラグインフォルダーに移動して、MetricsPlugin.dll がインストールされていることを確認します。
3. 次に、テレメトリー・プラグイン用の証明書のハッシュ値 (キー値) を取得します。デフォルト値 (デフォルト値 = 空白) ではなく、プラグインのキー値を取得して使用することをお勧めします。キー値を使用することによって、セキュリティが強化され、悪意のあるプラグインがハブにインストールされ実行されることを防ぐことができます。

注: テスト環境ではデフォルトのキー値を使用できますが、実稼働環境では使用しないことをお勧めします。

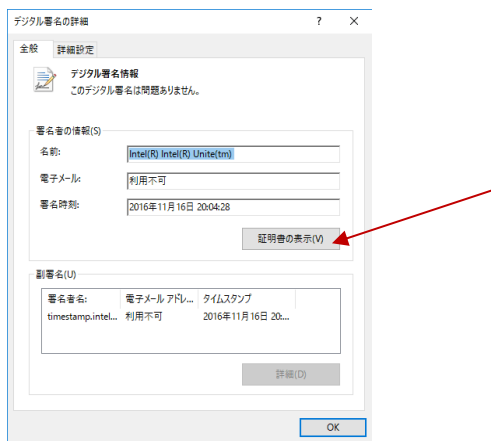
2.2 証明書のハッシュ値を取得

1. Intel\Intel Unite\Hub\Plugins のプラグインフォルダーで、**MetricsPlugin.dll** を右クリックして [プロパティ] を選択します。

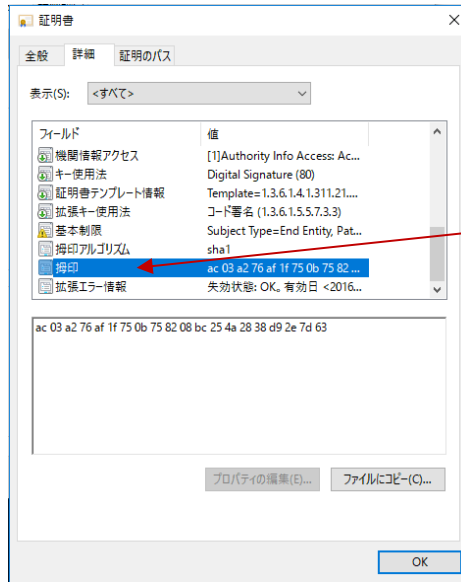
プラグインの [プロパティ] ウィンドウが表示されたら、[デジタル署名] タブを開きます。



4. [Intel® Unite™ プラグイン] を選択し、[詳細] をクリックします。
5. [デジタル署名の詳細] ウィンドウで、[証明書の表示] をクリックします。



6. [証明書] ウィンドウで [詳細] タブを選択し、[拇印] が表示されるまで下にスクロールします。
7. [拇印] を選択します。値が表示されたら、コピーしてメモ帳またはテキストファイルに貼り付け、スペースを削除して保存します。

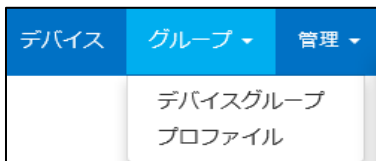


値をコピーしてメモ帳またはテキストファイルに貼り付け、スペースを削除して保存します。

- この情報は、管理者 Web ポータルでプラグインのプロファイルを作成する際に使用されます。また、プロファイルの作成後に、キー値を作成して入力することもできます。

2.3 管理者 Web ポータルでプロファイルを作成する

- 管理者 Web ポータルに移動して、[グループ] の [プロファイル] を選択します。



- [作成] をクリックしてテレメトリー・プラグイン証明書ハッシュキーを作成し、[プロファイルのプロパティ] ウィンドウが表示されたら次の情報を入力します。

プロファイルのプロパティ 作成

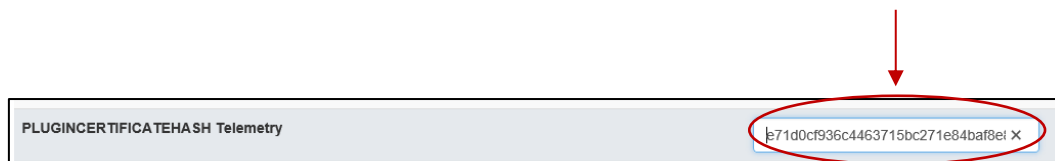
キーフィールドと値フィールドは必須であり、指定がある場合を除いてテキストを入力します。

キー	<input type="text" value="PluginCertificateHash_Telemetry"/>
データタイプ	<input type="text" value="テキスト"/>
値	<input type="text" value="e71d0c936c44637f5bc1e84ba8e8"/>

- キー : PluginCertificateHash_Telemetry

(形式は PluginCertificateHash_XXXX です。X には、プラグインに付ける名前を指定します)

- **データ型** : テキスト
 - **値** : 「**証明書のハッシュ値を取得**」のセクションでメモ帳またはテキストファイルに保存した値 (拇印値) を貼り付けます。このデータはキーの作成後に入力することもできます。
3. **[作成]** をクリックしてプロファイルを保存します。
 4. **[プロファイルの詳細]** ウィンドウに、プラグインの新しいプロファイルおよび入力したキー値が表示されます。



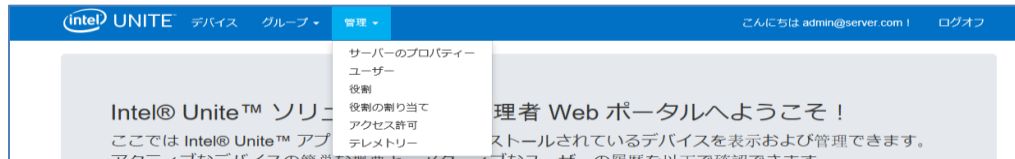
5. また、**[プロファイルの詳細]** ウィンドウの **[プラグイン証明書ハッシュの確認]** キーが有効 (緑色) であることを確認する必要があります。有効になっていない場合は、赤から緑に切り替えて有効にします。



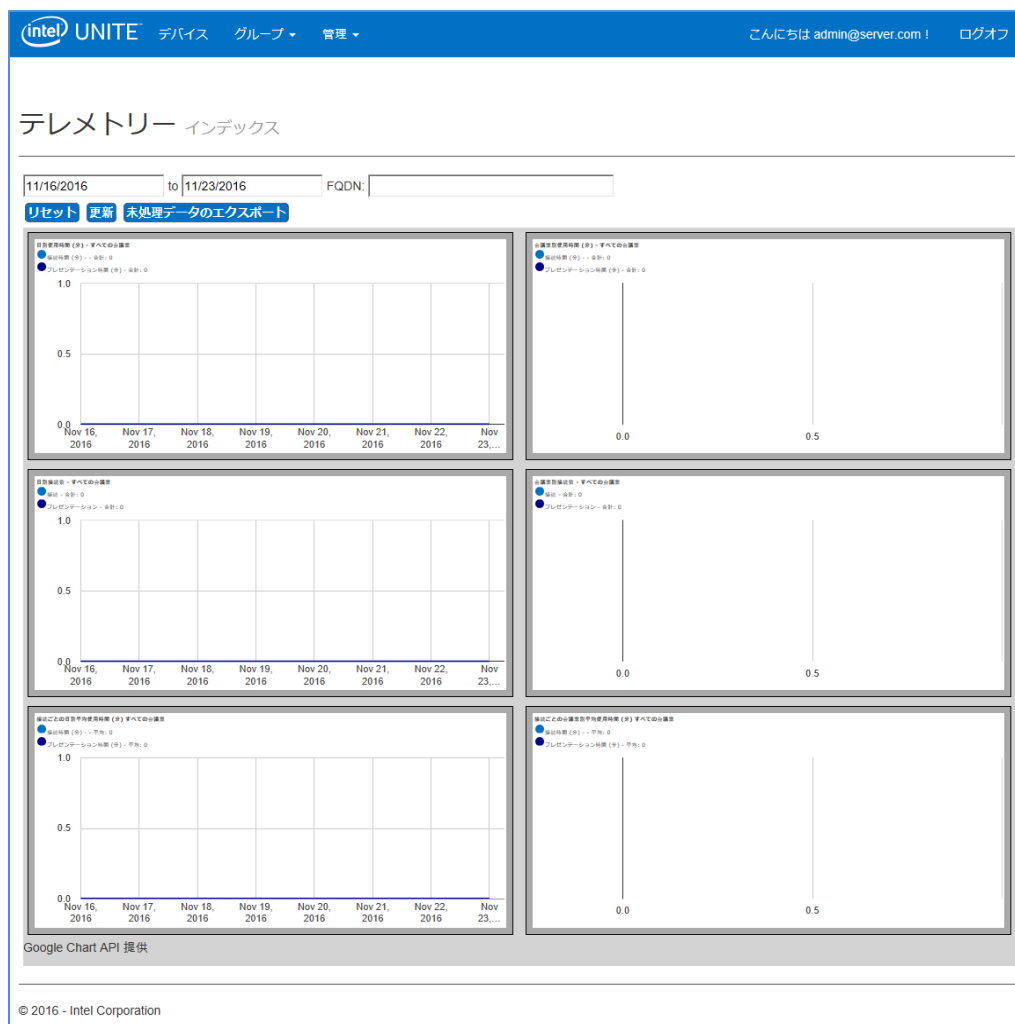
注 : テスト環境では証明書チェックを無効にすることができますが、実稼働環境ではお勧めできません。

3. テレメトリー・プラグインの機能

管理者 Web ポータルで、[管理] タブに移動して [テレメトリー] を選択します。



プラグインをインストール後、[テレメトリー] ページに次のウィンドウが表示されます。



データの収集を開始すると、テレメトリー・データが表示されます。

[テレメトリー] のメインウィンドウに、最大 10 個のハブを表示できます。さらに多くのハブが使用できる場合は、ユーザーの選択に応じて追加のタブ ([上位 10 の会議室を表示] または [下位 10 の会議室を表示]) が表示されます。以下の例を参照してください。

The screenshot shows the 'テレメトリー インデックス' (Telemetry Index) page. At the top, there's a navigation bar with 'intel UNITE' and links for 'デバイス', 'グループ', and '管理'. The main content area has a date range selector (11/01/2016 to 11/29/2016) and an 'FQDN' field. Below these are buttons for 'リセット', '更新', '下位 10 の会議室を表示', and '未処理データのエクスポート'. The main display is a 2x3 grid of charts. The top-left chart is a line graph showing '日付別接続数' (Daily connection counts) for 'すべての会議室' (All meeting rooms). The top-right chart is a horizontal bar chart showing '日付別接続数' for '上位 10 の会議室' (Top 10 meeting rooms), with 'UNITEHUB2' and 'UNITEHUB3' highlighted. The middle and bottom rows show similar charts for '日別接続数' (Daily connection counts) and '接続数' (Connection counts) for 'すべての会議室' and '上位 10 の会議室' respectively. A red circle highlights the top-right chart, and a red arrow points to it with the text '同じウィンドウに最大 10 個のハブを表示'. The footer contains '© 2016 - Intel Corporation' and a list of languages: [English | Français | Italiano | Deutsch | Español | Português | 日本語 | 简体中文 | 繁體中文 | 한국어]

使用できるフィールドは次のとおりです。

- **日付範囲**：メトリックを表示します
- **FQDN**：ハブを一度に表示する場合に使用します
- **リセット**：メトリックビューをリセットする場合に使用します



- **更新**：最新のデータを表示する場合に使用します。データは最短で 5 分ごとに更新されます
- **上位/下位 10 の会議室を表示**：ハブがアルファベット順に表示されます
- **未処理データのエクスポート**：サポートされているファイル (*.csv) にデータがエクスポートされます

使用できるメトリックは次のとおりです。

- 日別使用時間 (分) -
 - 接続時間 (分) -
 - プレゼンテーション時間 (分)
- 会議室別使用時間 (分) -
 - 接続時間 (分) -
 - プレゼンテーション時間 (分)
- 日別接続数 -
 - 接続
 - プレゼンテーション
- 会議室別接続数 -
 - 接続
 - プレゼンテーション
- 接続ごとの日別平均使用時間 (分)
 - 接続時間 (分) -
 - プレゼンテーション時間 (分)
- 接続ごとの会議室別平均使用時間 (分)
 - 接続時間 (分) -
 - プレゼンテーション時間 (分)

付録 A : トラブルシューティング

このプラグインに関して問題がある場合は、以下の考えられる原因を確認してください。ハブのログでも詳細情報が確認できます。

- プラグインの動作を妨げる証明書ハッシュが入力されていないことを管理ポータルで確認します。
- 管理者 Web ポータルに、テレメトリーのプラグイン証明書ハッシュのキー値が入力されていることを確認します。
- 管理者 Web ポータルで、プラグイン証明書ハッシュが有効になっていることを確認します。
- ハブが有線接続で企業ネットワークに接続されていることを確認します。
- プラグインのインストールが処理の途中で終了した場合は、Intel® Unite™ ソフトウェアとの互換性を確認します。